



苫小牧市立勇払小学校

勇払小だより

令和8年5月22日発行 No. 3

勇払小学校学校教育目標

- 自ら考え、進んで学習する子（知）
- 明るく、豊かな心の子（徳）
- 健康で、ねばり強い子（体）



運動会を通して身に付けてほしいこと

苫小牧市立勇払小学校長 池田 利夫

さわやかな風が心地よい季節となりました。いよいよ運動会が間近に迫り、グラウンドには子どもたちの元気な声と一生懸命に取り組む姿があふれています。全校児童43名ですが、その分、一人一人が主役となり、それぞれの役割を担いながら運動会を創り上げています。

今年の運動会においても、競技や係活動などを通して、子どもたち自身が考え、選び、挑戦する姿が多く見られます。こうした「**自己選択**」の積み重ねは、**子どもたちの主体性を育むとともに、「自分は役に立っている」という自己有用感を高めていく大切な機会**となっています。



日々の授業や運動会の練習場面においても、仲間と励まし合いながら、最終的には自分で選択をすることを通じて自分の意思を表現し、結果に責任を持つことで、自己有用感が育まれます。選択が失敗することも多々あります。

しかし、それであきらめるのではなく、新たな選択のできる子どもたちを育みたいと考えます。選択する力は経験によって成熟していくからです。授業の中でも、友達の意見と自分の意見を比較しながら、より良い選択ができる学び合いの場で子どもたちは頑張っています。成功の喜びだけでなく、上手くいかない悔しさや葛藤も経験しています。それら一つ一つが、子どもたちの成長につながっていることを強く感じています。

本校は今年、創立130周年という節目の年を迎えます。これまで地域の皆様に支えられながら歩んできた歴史を大切にしつつ、子どもたちが新たな一歩を踏み出す姿を、この運動会でもご覧いただければと思います。当日は、子どもたちが自分の力を信じて精一杯頑張る姿、そして仲間と共に創り上げる運動会の様子を、どうぞ温かく見守り、応援していただきますようお願いいたします。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

コスパやタイパもいりけれど、時には寄り道もいいのでは？！

「コストパフォーマンス（費用対効果）」略して「コスパ」は低価格ながらも高品質・高性能なものについて使われます。また、Z世代（1995年～2010年頃出生した世代）を中心に浸透している「タイムパフォーマンス（時間対効果）」略して「タイパ」は短時間でいかに効果や満足度を得るかを重視します。動画の倍速視聴やネットでの買い物、食事も手早く済むものが好まれます。プロセス（課程）を省き、結論や結果を早く求めるといった「効率」重視を求めることが悪いとは思いません。しかしながら、子どもたちの成長は個々の違いも含め自分なりに納得しながら進みます。かつて、「グリコ・ビスコ」のCMで、鉄棒にジャンプしても届かず、泣きながら何度もジャンプする子、顔を洗おうと手で水をすくうも、すき間から漏れ、濡れた手で顔をなでる子など頑張る映像の最後に「**ゆっくり、おとなにないなさい。**」というテロップが流れます。遅刻や下校時の寄り道は困りますが、成長における寄り道は時にはよいのではないのでしょうか？

